

## 9月に事故急増！ 衝突事故・機関故障が多発！

9月中に発生した船舶事故の隻数は22隻です。昨年の同月より7隻増加しており、9月に発生した事故隻数としては、過去10年で最も多くなっています。

この22隻中では、衝突が10隻と最も多く、次いで機関故障が6隻となっています。

衝突については、操業の活発化を背景に漁船同士の衝突が急増している状況にあります。

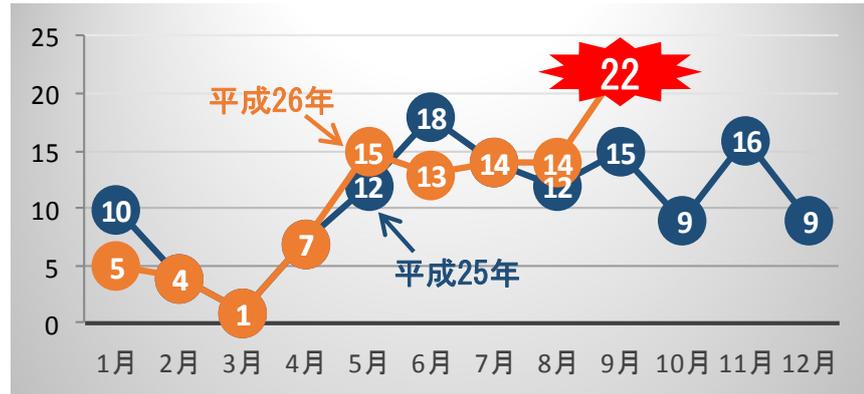
道東沖など、さんま棒受け漁が最盛期を迎えるなか、同海域の海水温上昇によりイカ・サバ・イワシ漁場も形成され、いか釣り船やまき網船団も集中している状況が伺えます。

機関故障については、機関内部等の日常点検では発見が難しい故障が多い傾向にあります。

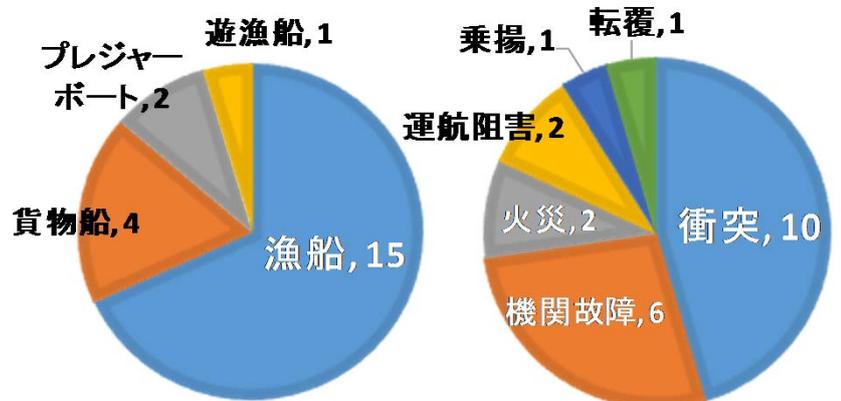
稼働数の多い漁船のほか、旧日本漁船を転用した外国船の故障も多く発生している状況です。

10月に入っても、道北において、漁船同士の衝突、漁船機関故障、上記のような外国船の推進器障害など、既に9隻の海難が発生している状況(14日現在)ですので、船舶運航者は次のことに留意してください。

また、漁協・船舶所有者・船舶代理店からも、同様の指導をお願いします。



平成25年と平成26年の月別事故隻数



用途別事故隻数の割合 (平成26年9月)

事故種類別隻数の割合 (平成26年9月)



花咲港沖の漁船航行状況 (8月末撮影)

**航行中は複数人で見張り、操業中も含め常時見張りを徹底する**

**入港時は港口に差し掛かる前に十分に減速し港内では徐行する**

**整備業者による綿密な機関の定期点検と部品交換は仕様に合わせ適切な時期に実施する**

他船が接近したら躊躇せずに直ぐ汽笛！



お問い合わせは **第一管区海上保安本部交通部**

電話 0134-27-0118 (内線2615, 2616)

MICSホームページ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/>



海難隻数及び海難による死者・行方不明者数 (速報値)

9月	22隻、1人
平成26年累計	95隻、10人